

2018 年大阪府北部を震源とする地震「緊急対応と研究・調査検討会」を開催しました (2018/6/20)

テーマ：災害調査、2018 年大阪府北部を震源とする地震
場所：東北大学災害科学国際研究所（宮城県仙台市）

2018 年 06 月 18 日 07:58 頃、大阪府北部を震源とする最大震度 6 弱 (M6.1) の地震が発生し、犠牲者のほか、ライフライン停止などの被害が発生しています。この地震に関して得られた情報をまとめ、各分野の専門家がコメントを加えつつ、今後の調査・研究・支援等について検討する会合として「緊急対応と研究・調査検討会」を開催しました。所内関係者ほか、関心のある方やメディア関係者を含めて約 80 名が参加しました。同会の内容は、次の通りです：

1. はじめに（今村文彦 災害科学国際研究所 所長）
2. 地震（活断層）の特徴（岡田真介 災害理学研究部門 助教）
3. 地震動（大野晋 災害リスク研究部門 准教授 ※五十子教授代理発表）
4. 建物被害（五十子幸樹 災害リスク研究部門 教授）
5. 地盤災害など（森口周二 地域・都市再生研究部門 准教授）
6. 文化財状況・対応（蝦名裕一 人間・社会対応研究部門 准教授）
7. 医療の動き（佐々木宏之 災害医学研究部門 助教）
8. ウェブ・SNS 等の災害情報の動向（佐藤翔輔 情報管理・社会連携部門 准教授）
9. 今後に向けて（総括）

当研究所では、当面、本地震に関する情報を収集・解析し、それによって得られた結果等を発信してまいります。また、検討会で使用された資料は、以下からダウンロードできます。

平成 30 年（2018 年）大阪府北部を震源とする地震に関する特設ページ
http://irides.tohoku.ac.jp/topics_disaster/2018osaka-eq.html



岡田真介助教



五十子幸樹教授



森口周二准教授



蝦名裕一准教授



佐々木宏之助教



佐藤翔輔准教授



今村文彦所長



会場の様子

文責：佐藤翔輔（情報管理・社会連携部門）

写真：鈴木通江（広報室）